

経済産業省 経済産業政策局 新規事業創造推進室 御中

**令和2年度 経済産業省
新しい生活様式における新技術導入・普及に係る調査研究委託業務
報告書**

令和3年3月

・HAKUHODO・

株式会社博報堂

1. 事業実施概要	2
2. 事業実施内容	8
(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等	9
(2) 実証の実施	18
(3) 広報活動の実施	40
(4) 効果測定	46
3. 今後の展望	48

1. 事業実施概要

1.事業実施概要 (1) 背景/目的 実施方針

背景/目的

新型コロナウイルス感染症の影響拡大により、わが国経済は多方面で深刻な影響を受けている。この影響は当面継続するものとも考えられることから、かかる状況に対応しながら経済活動を持続するべく、新技術を活用した新常態を創造することが急務である。さらに、その社会受容を高めていくためには、国民の「日常」においてそれら新技術を実証・実装していくことが非常に重要である。

ついては、新常態の創造に係る課題を有する地域において、当該課題を調査するとともに、その解決に資すると思われる新技術及び当該新技術を活用した新たなビジネスアイデアを有するスタートアップ企業等の協力を得て新技術導入に係るデモンストレーションを行い、その効果を測定する調査研究を行うことで、新技術の導入・普及による新常態の創造及び社会的受容性の向上を目指す。

実施方針

我が国の成長を阻害する課題の解決につながる新技術を、社会に広く告知し、「新しい生活様式」のより一層の実現加速につなげる。

スタートアップ企業のテクノロジー紹介を“街”の中で実施するが、都市型の課題解決につながる新技術だけでなく、地方の課題解決にもつながる新技術を紹介。さらに、国内の近未来の課題解決と新型コロナウイルス感染拡大や東京オリンピック・パラリンピックを見据えての直近の課題解決につながる新技術を紹介する機会とする。また、直近の課題を有する業種を、飲食、旅行・宿泊、イベント、小売と定める。

中長期の社会課題

少子高齢化、労働力不足、環境問題など

喫緊の社会課題

(飲食、旅行・宿泊、イベント、小売)

新型コロナウイルス感染拡大や
東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて

街中/施設内でのデモンストレーション、PR関連にて
参画スタートアップ企業の技術を紹介

① 実証を行う地域の選定の考え方

目的に鑑みると、地域に求められる要件は以下の3点

- 1) 新型コロナウイルス感染症の影響拡大に対応しながら経済活動を持続するべく、新技術を活用した新常态を創造しやすい地域であること
- 2) 社会受容を高めていくために、国民の「日常」においてそれら新技術を導入検討しやすい地域であること
- 3) 特に顕著な課題を抱えると思われる地域あるいは典型的な課題を有しており、ここでの実証により広くわが国の課題解決に資すると考えられる地域であること

目的を満たす地域の要件

- 1) 新技術活用に積極的な地域
- 2) 新技術の実証・実装の経験がある地域
- 3) 人の賑わいで経済活動を行ってきた業種が多い地域

上記を踏まえて、各都市の特徴や課題を踏まえて、
議論を進めた結果**渋谷区（渋谷駅周辺）**で実施することに決定。

渋谷区に決定した理由

- 1) 渋谷区は、喫緊の課題をもつ産業（飲食店、エンターテインメント施設、商業施設、観光など）の集積地である。また、日本を代表する街として未来の課題について検討している団体も発足している。
- 2) 三密を回避しながら飲食やエンターテインメントを楽しめる新しい技術（混雑状況を把握できる技術、来場者を検温する技術、オンラインライブ配信など）や買い物代行に係る技術、育児問題等を解決する技術等で上記課題を解決。
- 3) 東急グループが渋谷区で積極的に、新しい生活様式のための取組実験を行うなど、大企業とスタートアップ企業との連携も進んでいる。
- 4) 自治体（渋谷区）も大企業やスタートアップ企業と連携して、新しい生活様式の導入に向けて積極的に活動を行っている。

① 実証を行う地域の選定の考え方 (続き)

■ 渋谷エリア選定理由

- 渋谷エリアは、東急株式会社が「都内におけるイノベーション・エコシステム形成促進支援事業」の対象となる認定地域別協議会に令和元年度と令和2年度に採択されている。

東京都におけるイノベーション・エコシステム形成促進支援事業「認定地域別協議会」

幅広いプレイヤーが活躍し、チャレンジできる世界を代表するイノベティブな街を目指す
最先端のテクノロジーを活用した安心・安全な街を目指す

令和2年度 東京都におけるイノベーション・エコシステム形成促進支援事業 「認定地域別協議会」

渋谷にイノベーションの拠点を構える幅広いプレイヤーが活躍し、未来の起業家として誰もがチャレンジできる街の実現に取り組む。また、テクノロジーで安心・安全を目指し、世界を代表するイノベーション都市として成長させることを目指す。

- 令和元年度に東京都と東急が共同で①人流調査②屋上緑化とIoTとコミュニティ形成③AR建物管理を事業を実施。
- 一般社団法人渋谷未来デザインが、国内最大級のソーシャルデザインをテーマにした都市フェスティバル「SOCIAL INNOVATION WEEK SHIBUYA」を2018年から毎年開催。
- 渋谷区も独自で令和2年6月25日より新たな事業である「Innovation for New Normal from Shibuya」を立ち上げ、を開始。テクノロジーの力によって、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い生じた社会的課題の解決を目指す、スタートアップ企業や大学、研究機関などから、新しいテクノロジーやアイデアの募集
- 「スマートシティシブヤ」の実現に向けて、一般社団法人渋谷未来デザインは、東京大学先端科学技術研究センターの協力のもと、渋谷区のスマートシティ化を進めるうえで基礎となるビッグデータやオープンデータを推進する「一般社団法人渋谷未来デザイン データコンソーシアム」を令和2年7月2日に立ち上げて、産官学民のデータを掛け合わせ、社会課題の新たな知見やソリューションを創出できる基盤を構築し、渋谷区の行政サービスや社会サービスの開発と提供を目指している。

1.事業実施概要 (4) 事業実施のまとめ

- 前述のとおり、多くの就業者や生活者の日常生活の場であり、飲食店・エンターテインメント施設・商業施設及び観光関連施設等が集積している渋谷区は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大による典型的な課題を抱える地域である。加えて、同地域では、自治体（渋谷区）によるスタートアップ企業支援、自治体及び大企業によるスタートアップ企業の新技術を活用した街づくりが積極的に行われており、スタートアップ企業の持つ新技術を活用した、コロナ禍における新常態創出に係る課題解決検証、更には中長期の課題解決検証を行うのに最適な地域の一つであることから、渋谷区において本事業を実施
- 国民一人一人が、新技術を活用した「ニューノーマル」を思い描けるようになることを目指す実験的取組を企図し、「NEW NORMAL LAB.渋谷」として実施
- スタートアップ企業、大企業、自治体、国の四者連携により、リアルタイムで密状況を可視化する新技術、密を避けた短距離移動を可能にするパーソナルモビリティ、離れた家族や保育士による保育支援を実現する遠隔協同子育てロボット、水道設備の無いところでも手洗いを可能にする新しい手洗いスタンド等、本事業が掲げる課題を解決する技術を有する幅広いスタートアップ企業の参画を獲得したほか、各主体のリソースを活用して効果的な技術デモンストレーションを実現した
- 技術デモンストレーションの結果、各社においてサービス開発時に想定されていた狙いに止まらず、転用や導入場面の変更等により、コロナ禍における課題に即応できる可能性が判明する等の成果を得た一方、実装されインフラとして安定的に運用されていくためには安全面などでの更なる整備が必要であることや、知名度の低さといった課題も明らかになるなど（各参画スタートアップ企業別の成果・課題はP.30～P.39参照）、今後、関連技術の社会実装の更なる推進や社会受容の向上に貢献する示唆を得た
- 今後、「NEW NORMAL LAB.渋谷」の取組をモデルケースとして、同種の取組が様々な地域・自治体へ広がり、地域固有の課題解決及び我が国全体の課題解決に資するものとして展開していくことを検討していく。

2. 事業内容

■ 考え方

- 渋谷区とは、過去の実証実験の参画企業や現在の実施中の企業、今後実施を検討している企業について、紹介をいただき参加依頼の調整を図った。
- また、渋谷区内の公共施設等での実証の協力をいただけるように話を繰り返した。その結果、渋谷区役所内のMIYASHITA PARKでの実証を実現した。
- 渋谷区に多くの施設を保有する東急グループへの協力の依頼を行った。その結果、会場となったヒカリエホールや実証の場として、SHIBUYA FUKURASU、Plug and Play Shibuyaでの実証を実現した。
- スタートアップ企業は、経済産業省のJ-Startup参加企業・団体、渋谷区や東急グループからの紹介を中心に、日本の喫緊の課題と未来の課題解決につながる企業・団体に参加要請を図った。
- 日本の喫緊の課題は、新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きく、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて重要な産業となる飲食、旅行・宿泊、イベント、小売の支援。
- 未来の課題解決は、新たな働き方の促進・定着、人口減少高齢社会への対策、デジタル化・グリーン化を中心にした企業の成長力強化 など内閣府経済諮問会議で議論されているテーマ。
- これらの課題解決を目指す新たなテクノロジーを所有するスタートアップ企業に参加を要請。参加要請をした企業・団体は、は後述。

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い生じた国民の経済活動が継続できない課題解決を目指す新たなテクノロジー

※課題に照らし、以下に掲げるスタートアップ企業について、有する技術の調査及び本事業への参画を検討・調整
(事業参画企業には★を付している。)

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
1	★ 株式会社Luup		電動キックボードをはじめとする、電動マイクロモビリティのシェアリングサービス「LUUP」を展開する2018年設立のベンチャー企業。好きな場所から好きなタイミングで電動キックボードに乗ることができる社会を実現することで、住民の普段の交通や観光時の利便性を向上させ、地域の不動産・店舗の価値の向上に貢献。	より快適で、より楽しい“新しい短距離移動”を渋谷の街から発信。また、LUUPの技術が若者だけではなく高齢者や障害者等すべての人々にとって役立つ技術であることを発信し“渋谷のNewnormal”を創り出していく。	モビリティ
2	★ 株式会社バカン		AIやIoTを活用して、レストラン・カフェやトイレなど、あらゆる空席情報を提供するサービスを展開。「いま空いているか1秒でわかる、優しい世界。」の実現を目指す。センサーやカメラで混雑状況を自動検知し、デジタルサイネージやスマートフォンにリアルタイムに表示。東京、大阪、札幌、福岡などにサービス展開中。	withコロナ時代において感染防止の一環として常に“密”を避ける行動が日常化してくる。その人々の行動をVACANの技術がサポートし、その技術・情報を今回のイベント・実証実験で世の中に大きく発信し安心安全な街「渋谷」という情報を広めることができるため。	AI、観光、コロナ禍
3	★ ABAL株式会社		システムとハードを組み合わせ、VR空間内での自由移動・体験共有を可能にするソリューションを開発。VR空間構築における数々のノウハウを集積したユーザーやクリエイターにとって魅力的な数々の機能によって、従来のXRコンテンツ制作よりもはるかに安価で効率的なコンテンツ制作を可能にする。	コロナ禍におけるソーシャルディスタンスを前提としながら、様々な体験を共有する事を可能にする。さらに、今後訪れるであろう「アフターコロナ」と呼ばれる時代においても、人々の心を動かす、リアル以上の体験を作り出すことができるテクノロジーとして体感してもらう。	VR,エンタメ
4	★ AWL株式会社		独自のAIエッジコンピューティングデバイス「AWL BOX」と、スマホやサイネージにインストールして使える「AWL Lite」により、既存の防犯カメラやデバイスを簡単にAI化し、防犯、マーケティング、接客支援、業務の効率化を実現。	誰もが安心（体温測定、防犯など）して訪れることができる街づくりのための1つの技術としてAWLのテクノロジーを紹介。	AI,セキュリティ
5	★ タイムリープ株式会社		複数店舗をまたいだ接客を可能とする遠隔接客サービス「RURA」を開発。テクノロジーの力で社会構造を変えることで、人類を労働から解放し、一番大切なことに時間を使える世界の実現を目指す。	複数店舗をまたいで遠隔で接客が可能な非接触が叶うだけでなく、障害者の雇用支援など、多様性の社会にも対応できる先進技術があることをアピール。	コロナ禍、リモート

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い生じた国民の経済活動が継続できない課題解決を目指す新たなテクノロジー

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
6	Mira Robotics 株式会社		遠隔操作のアバターロボットと、その様々なロボットを統合管理するプラットフォーム"ugo (ユーゴー)"を開発。人とロボットの分業モデルと環境データの収集分析によって、従来の労働集約型の日常業務を最適化し、少ない労働力で成り立つ運用システムを構築する。	AIによる学習機能も備えたロボット「ugo」を実際の渋谷の施設で実証することで、コロナ禍での感染予防対策だけではなく、労働の最適化を図るテクノロジーとして紹介する。	ロボティクス、コロナ禍
7	★ SEQSENSE 株式会社		画像認識技術やセンサー技術など高度なテクノロジーを駆使することで生まれた自律移動型のセキュリティロボット「SQ-2」の開発。人手不足が深刻な巡回警備業務を人に代わって、もしくは人と分担していくことが可能になる。平和な日常を保つため「世界を変えない。」をミッションとする。	全自動の立巡回警備、遠隔通話による案内等の機能を備えたロボットにより、人手不足の問題解決や、コロナ禍において重要な非接触での警備体制を支える技術として紹介する。	ロボティクス、コロナ禍
8	★ 株式会社NearMe		「相乗りで、移動をもっと快適に。」をメインコピーとして、今いる場所からの移動や興味をリアルタイムにマッチングしたり、地域の良いモノ・コトが発見できるプラットフォームを作り、地域活性化に貢献。	日本の情報・文化の発信基地である渋谷を起点に実証実験を始めることで日本人だけでなくインバウンド客に対してより効率的な移動（空港⇒渋谷等）をアピールし、来日意欲を高めるきっかけを作ることができる。	シェアライド
9	株式会社uni'que		株式会社ユニックのサービスであるleap2liveは、あなたが大好きなアーティストをオンラインで招いてライブパフォーマンスを体験できる、新しいライブのかたちを提供。	コロナ禍においてライブの楽しみ方が大きく変わるなかで、New normal時代のエンターテインメントの楽しみ方、ビジネススタイルを紹介。	エンタメ
10	株式会社DIRIGIO		テイクアウトメニューの検索・注文アプリ「PICKS」を提供。アプリでテイクアウト料理を事前注文し、できたての料理を受け取り、家やオフィスで食べる。そんな新しい体験の創出を目指す。	コロナ禍において飲食店の密を避け、"待たないテイクアウト"で、快適な家中やオフィスでの食生活をサポートする技術があることをアピールする。	家事支援、コロナ禍

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

①新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い生じた国民の経済活動が継続できない課題解決を目指す新たなテクノロジー

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
11	SHOWROOM 株式会社		出演者と視聴者がギフティングやコメントを通じたリアルタイムコミュニケーションができるライブ配信プラットフォーム「SHOWROOM」や、スマートフォンだけでバーチャルライブに参加できるVRライブプラットフォーム「SHOWSTAGE」などのエンターテインメント事業を展開。プロのクリエイターによって製作された高品質の縦型動画コンテンツを提供する次世代動画サービス「smash.」を提供。	コロナ禍においてライブの楽しみ方が大きく変わるなかで、New normal時代のエンターテインメントの楽しみ方、ビジネススタイルを紹介。	エンタメ
12	★ CYBERDYNE 株式会社		医療、介護福祉、生活支援分野等で活用されるロボットスーツの研究開発・製造・販売及び製品を利用したサービスを展開。人・ロボット・情報系を融合複合した新領域「サイバニクス」を駆使し、深刻化する少子高齢化社会における様々な社会課題の解決のため、医療、福祉、生活、職場を中心に、革新的サイバニクスシステムを研究開発・製造・出荷し、あるべき姿の未来を創るための事業推進に注力。	ロボットによる消毒作業を自動化・無人化で行うことができ、実際のイベント会場で実証実験を行うことで、コロナ禍での感染予防を支援する新技術を体験してもらう。	医療、介護、 ロボティクス
13	★ 株式会社ZMP		「Robot of Everything - 人が運転するあらゆる機械を自動化し、安全で、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ADAS、自動運転開発用プラットフォーム及びセンサ・システム、②移動体メカ向け自動運転等の開発支援、実験代行、③物流支援ロボティクスツトの開発・販売。	人とロボットの共存を、ZMPの技術と構想とともに紹介し、New normalシティ渋谷の新しいあり方を見つけていく。	ロボティクス、コロナ禍
14	株式会社メドレー		日本最大級のオンライン診療システムである「CLINICSオンライン診療」を中核として、患者と医療機関双方にとって、テクノロジーの恩恵を受けることのできるプラットフォームづくりに注力。患者のための医療情報サービス「MEDLEY」、納得できる老人ホーム探し「介護のほんね」など、生活者に向けた適切な情報提供の領域にも取り組んでいる。	withコロナにおいて、海外旅行者も安心して訪れることができる街として、“遠隔医療”の充実がポイントとなると考えており、その1つとしてMEDLEYのテクノロジーを紹介していく	ロボティクス、福祉
15	株式会社 ネクストシステム		画像認識、映像解析、行動解析、ジェスチャー認識などの開発を行っており、ディープラーニングに必要な教師データの自動作成も行うなど、一貫した人工知能システムを開発	オンライン上の仮想試着（＝リモート試着）が可能なサイネージや、非接触で動きに反応するサイネージなど、新型コロナウイルス感染拡大による行動様式の変化に対応していける技術があることを紹介。	AI、画像認識

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

② これからの日本が抱える社会課題の解決を目指す新たなテクノロジーであること

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
1	★ 株式会社Liquid		携帯電話事業者で契約時に使用した本人確認情報を、ベンチャー企業が提供する技術を介することで、非対面での金融機関の口座開設を実現するサービスLIQUID eKYC システム (ASP) を展開。	既に多くの企業が導入している技術であり、コロナ禍における非接触型・非対面技術の進化を紹介していく	コロナ禍、リモート
2	★ 株式会社シナモン		人間のように文書を読み取るAI OCRの「Flax Scanner(フラックス・スキャナー)」を中心に、独自開発の人工知能のエンジン提供を行っており、多数の国内大手企業への提供実績を有する。「日常的に発生する無駄な業務をなくし、人が創造性溢れる仕事に集中できる世界を目指す」をミッションに、企業の生産性を改善する人工知能プロダクトの開発・提供を行う。	働き方改革としてより効率的な業務推進をCINNAMONの技術がサポートし、これからの社会が目指す健康経営を生み出す技術である。	AI、言語
3	★ 株式会社 ChiCaRo		現代育児の課題であるワンオペ育児を遠隔支援ロボット C h i C a R o のテクノロジーと遠く離れた家族の力で助けることをミッションとしている。	子育てにおけるワンオペ問題や共働きによる子育て負担など育児問題の一助となるテクノロジーをCHICAROの想いとともに紹介。より大きなソリューションとして少子化問題対策にも言及していく。	子育て
4	株式会社 I'm beside you		ZoomなどのオンラインコミュニケーションをマルチモーダルAIで解析することで、参加者一人一人の反応をフィードバックするサービス「I'm beside you」を開発。「唯一無二をみえる化する」をミッションとして掲げる。	新型コロナウイルス感染拡大の影響でオンライン会議やオンライン授業が普及している中で、オンラインミーティングの参加者一人ひとりの反応を定量的に把握することができる本サービスにより、オンライン上でのコミュニケーションを活性化させる。	教育、コロナ禍
5	株式会社 Hakobot		Hakobotは、自動走行ロボットの開発・販売・レンタルを行う自動走行ロボットメーカー。シンプルで親しみやすく、操作性や価格の面で最も導入しやすい自動走行ロボットの販売を目指し、現在開発を進めている。	コロナウイルスの拡大を機に世界で注目が高まっている、コンタクトレス配送（非接触配送）を実現する自動走行ロボットとして、配送の新常識を提案する。	ロボティクス

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

② これからの日本が抱える社会課題の解決を目指す新たなテクノロジーであること

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
6	株式会社ハタプロ		AIとIoT技術で街の日常を進化させる。 次の時代をつくる。総合ロボティクスカンパニー。AIロボットによる高齢者見守りやフレイル予防。	遠隔・非接触型のコミュニケーションがこれからのスタンダードとなる中で、医療、介護、店舗接客における可能性をHATAPROの技術とともに紹介していく。	福祉
7	★ クックパッド 株式会社		「クックパッドマート」：食（農家の野菜やレストランの料理）を設置された冷蔵庫に届け中間マージンをとり、直接生産者が消費者と繋がるアプリ。	コロナ禍においてイエナかまた家族で過ごす時間が増えるなか、より豊かな食生活や日本の食材を見直すきっかけとしてCOOKPAD MARTのシステムを紹介していく	フードテック
8	★ ラッセル・ マインドフルネス		「オリジナルで愛おしい人生の実現」をサポートする、メンタリング瞑想アプリ。信頼できるメディテーションやヨガのプログラムに加え、理論と実践法・役立つ情報を、一人一人にあわせて毎日お届けするメンタリング瞑想アプリ "RussellME"の開発。	生活のあらゆる接点で取り入れられ、アートやエンターテインメントを活かした誰もが楽しめるマインドフルネスを通じて、New normal時代の新たな人生の楽しみ方を提案する。	ウェルビーイング
9	株式会社TRINUS		全国に散らばる4000人のクリエイター、1万人を超えるユーザー、300社を超える製造パートナーを利用して、ユーザーのフィードバックを得ながら商品を開発するプラットフォームを運営。	「未来の日常生活品」を作るのに必要な「技術」「デザイン」「ユーザー」をマッチングさせ、より良い日常生活を支える新技術を世界に生み出していくプラットフォームとして紹介。	製品開発
10	株式会社MESON		MRグラス「NrealLight」を使って、自分の部屋を、お店以上に便利で楽しく買い物ができる空間にすることができるMRショッピング体験。	主戦場をECへと移行していく企業も増えたがこのECでの買い物体験を、さらに価値あるものに進化させる未来の技術としてMRショッピングを紹介していく	MR、エンタメ

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

② これからの日本が抱える社会課題の解決を目指す新たなテクノロジーであること

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
11	有限会社 ソリューションゲート		学習塾指導の授業用ツール、就職活動用ツール、教育ビデオ制作など、教育コンテンツの企画・制作を幅広く手がける。 ロボット先生：非接触型で子供に学習機会を提供。	コロナ禍で、オンライン授業など教育あり方についても議論となった。平時じゃなくとも、安定して子供たちが教育を受けられる世の中にするためのソリューションとして紹介していく	教育、コロナ禍
12	株式会社 アドリブワークス		誰もが簡単に仲間を集め、資金を集め、知見を集め、事業アイデアを具現化するための様々なサービスを提供。 (地方創生事業、コワーキングスペース運営、食品製造販売事業 他)	フリーランスがより高い目標にチャレンジする環境を提供するサービスとして紹介していく。	起業、働き方
13	株式会社 シェアダイニング		調理師や管理栄養士などの食の専門家による出張料理のサブスクリプションサービス	共働き夫婦が当たり前の時代に加え、外食などを遠ざけ家で過ごす家庭が増えている。そんな時代の家事・子育てを効率化する新たなサービスとして紹介していく。	子育て、家事支援
14	株式会社 フライウィール		データ及び人工知能を活用したサービスソリューションの提供	集団感染などを回避するため、商業施設などでの3密をさけるためのツールとして、AIを活用した来客予想サービスを紹介していく	商業施設支援
15	akippa株式会社		契約されていない月極駐車場や個人宅の車庫・空き地・商業施設など空いているスペースに、15分単位でネット予約して駐車できる駐車場予約アプリ「akippa」を提供。現在、予約駐車場サービス・駐車場シェアサービスで業界1位となる駐車場拠点数を確保しており、2019年7月現在会員数は130万人を突破。	違法駐車が引き起こす、都市部の渋滞やそれが引き起こす様々な問題を解決するサービスとして紹介していく	AI、観光、コロナ禍

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

② これからの日本が抱える社会課題の解決を目指す新たなテクノロジーであること

	参加想定企業	ロゴ	概要	選定理由	カテゴリー
16	ピクシーダスト テクノロジーズ株式 会社		市販の電動車いすに取り付けて自動運転を可能にする装置「xMove（クロスムーブ）」を開発。音・光・電磁波などの波動制御技術「HAGEN 波源」をコアに事業を展開。プロダクトディプロイ型事業として、独自の波動制御技術をコアに企業と新製品や新サービスを共同開発。空間開発型事業として、顧客企業が抱える課題の解決に向けて、空間を把握・制御するソリューションを開発。	データをもとにした感染防止策。そして感染防止だけでなく経済回復の両立を掲げていることで今回のイベントともマッチしていると考えられる。	医療、介護、 ロボティクス
17	株式会社ACES		画像認識を中心としたAIアルゴリズムの力で、リアル産業のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、シンプルな社会を実現する会社。リアル産業のDXに特化した画像認識AIクラウドソリューションであるSHARONを提供。	優れた画像認証技術で非接触型コミュニケーションを円滑にするだけでなく、 フィジカル・メンタル両方の健康状態もチェックできることで ウェルビーイング 観点での訴求にも期待できる	AI、画像認識
18	株式会社UsideU		人々の働き方に革新をもたらすと共に、それを通じて時間と場所に制約を受ける知的情報サービスをすべての人々に普及させることを目標に、法人向け遠隔接客販売ツール「TimeRep」、個人事業主向けのリモートサービス支援ツール「TimeHut」の2つのサービスを開発・提供しているスタートアップ。	コロナ禍における非対面・非接触型のコミュニケーションを生み出し、 また新たな雇用（地方雇用、障害者雇用など）を生み出すソリューションである	コロナ禍、リモート
19	株式会社JDSC		配達先の現在と将来の在不在をAIによって予測し、不在配達の見逃しを支援するサービスを提供。	EC市場の拡大により配送業への負担・人材不足が叫ばれているなかでJDSCの技術がその一助となっていることを紹介	AI

2. 事業内容

(1) 地元自治体、スタートアップ企業及び関連事業者等との調整等

■ 体制図

- ・ 経済産業省と渋谷区が連携し、さらに渋谷エリアで社会実験の経験がある東急株式会社と連携し、渋谷エリアの課題に則したスタートアップ企業及び関連事業者等との調整を図り事業を進める。渋谷区で、ニューノーマルに対応した街づくりを目指す。

行政

・全体統括



連携



- ・地域の課題の同定
- ・課題解決に資するスタートアップ企業との連携
- ・技術デモンストレーション実施に係る調整

大企業

連携



東急

- ・新技術を活用した街づくりを見据えたスタートアップ企業との連携
- ・技術デモンストレーション実施に係る調整（所管施設等）

スタートアップ企業

連携

- ・新技術による課題解決
- ・各社の有する最新技術、サービスのデモンストレーションの紹介/実施



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 実施概要

プロジェクト名を「NEW NORMAL LAB渋谷」と命名して、2021年3月2日（火）に、「NEW NORMAL LAB」事業概要発表会を2部構成で実施した。

<第1部> 発表会：13:00～13:45

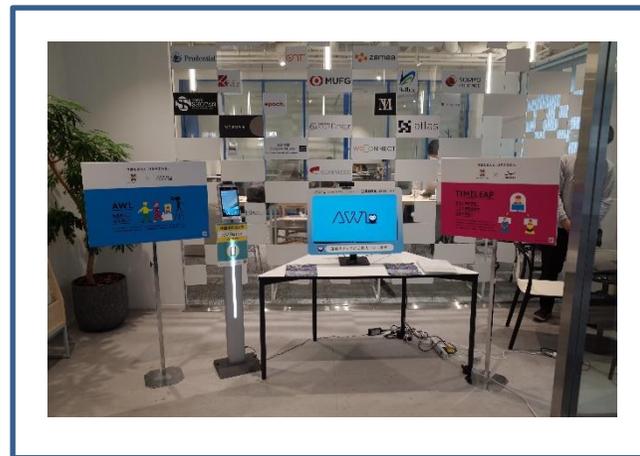
<第2部> LAB会場取材会：13:45～16:00



NEW NORMAL LAB

第1部 発表会

LAB会場取材会

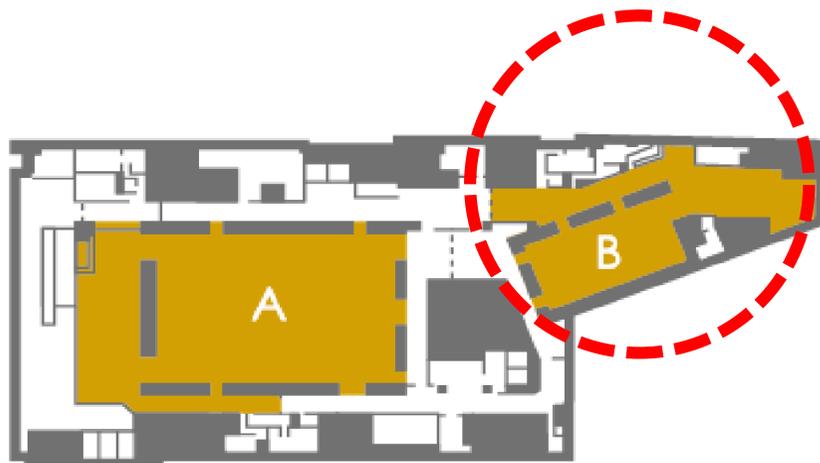


2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会の実施会場

渋谷ヒカリエ ヒカリエホール ホールB



ホールB 利用可能面積：約650㎡



Address

〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1

Transportation

・JR線・京王井の頭線「渋谷駅」直結
東京メトロ銀座線「渋谷駅」と1階で直結
東急東横線・田園都市線・東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」B5出口と直結

使用会場：ホールB(300㎡)

床面積/床仕上げ/形式	300㎡ (24.0m×12.0m) 長尺塩化ビニル仕上げ/平土間形式
床耐荷重	500kg/㎡
床配線ピット	あり
有効天井高	6.8m
ホワイエ床面積/仕上げ	270㎡/タイルカーペット仕上げ(OAフロア)
収容人数	シアター形式：264席 スクール形式：150席 パーティー形式(立食)：約160名 最大収容定員：301名
機構設備	道具ボタン 7本・照明ボタン 7本 アッパー・ホリゾントライトボタン 1本・ホリゾント幕
電源容量	照明用 3φ4ω：90kVA/催事用 1φ3ω：60kVA/動力用 3φ3ω：20kVA
控室・楽屋	9F：主催者控室B1(43㎡)、主催者控室B2(17㎡) 10F：楽屋 5 (30㎡)、楽屋 6 (19㎡)/楽屋事務室 1室

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会の新型コロナウイルス感染症対策と対応-1

当日の対応

1. 現場での感染予防対策

○ スタッフの取組

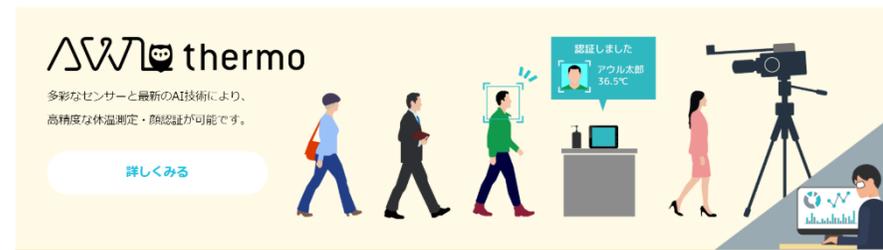
- ・マスク着用でのご案内
- ・手指の消毒
- ・検温
- ・1時間ごとに受付の消毒、会場内換気
- ・ソーシャルディスタンス（一定の距離）の確保

○ 来場メディアへのお願い

- ・マスク着用でのご来場
- ・入口での手指の消毒
- ・入口での検温
- ・受付でのコロナ感染症チェックリストの記入
- ・ソーシャルディスタンス（一定の距離）の確保
- ・大きな声での会話の自粛
- ・体調が悪い、発熱がある場合ご来場の自粛

2. 現場での検温と発熱のお客様への対応

- ・デモンストレーションの一環として、AWL様の検温システムを導入(予定)システム上抵触した方は、実際に受付に用意した体温計で再確認を行い再度「37.5℃以上」の場合は、入場をお断りする。



3. 「東京版新型コロナ見守りサービス」の導入促進

- ・会場内内で新型コロナウイルス感染症の罹患者が発生した場合に、施設の訪問履歴に基づき利用者に感染情報を通知する新型コロナウイルス接触確認アプリ「cocoa」導入を促す。



新型コロナウイルス
接触確認アプリ

厚生労働省公式

開く



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会の新型コロナウイルス感染症対策と対応-2

当日以降の対応

PCR検査者の情報提供

PCR検査を受診することが確定した方がいた場合に、
コロナ感染症チェックリストの記入内容等をもとに
以下の連絡内容を渋谷ヒカリエ担当者様お伝えする。

○連絡内容

- ・対象者のPCR検査日および検査結果の判明日
- ・対象者の経緯、症状 ※発症日(体調異変後)～当日まで
- ・渋谷ヒカリエへの最終来館日時
- ・滞在環境、行動経路等
- ・保健所への連絡の有無、保健所からの指示や
指導内容(消毒可否・濃厚接触者の特定状況など)
- ・対外的な公表の有無、または予定

なお、渋谷ヒカリエにおいて状況に応じた対応を行うにあたり、
感染者発生(疑いを含む)事実について、
感染予防対策に必要となる範囲(個人情報などは除く)で、
渋谷ヒカリエ関係者等の第三者に情報提供される場合がある。

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会のスケジュール

PROGRAM	TIME	Lap	Contents	登壇者	備考
	12:30	30'	会場		
13:00-13:44 「NEW NORMAL LAB 渋谷」事業概要発表会	13:00	1'	開会アナウンス～趣旨説明	MC	
	13:01	2'	メッセージ上映		◆西村経済再生担当大臣の映像メッセージ
	13:03	5'	挨拶①	佐藤 経済産業大臣政務官	◆センター演台にてご挨拶
	13:08	5'	挨拶②	長谷部 区長	◆センター演台にてご挨拶
	13:13	5'	フォトセッション	佐藤 経済産業大臣政務官／長谷部 区長	◆フォトセッション後、両者ご退席
	13:18	15'	プロジェクト 概要説明	経済産業省 新規事業創造推進室 室長補佐 高木 彩	◆センター演台にてプレゼンテーション
	13:33	10'	質疑応答	経済産業省 新規事業創造推進室 室長補佐 高木 彩 渋谷区 経営企画部副参事 国際戦略推進担当課長 田坂克郎	
	13:43	1'	閉会アナウンス	MC	
デモンストレーション 取材			デモンストレーション取材開始		◆発表会終了後、取材スタート ※ツアーなどは組まずに自由取材
撤収スタート					

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ NEW NORMAL LAB渋谷 事業説明の当日の資料



NEW NORMAL LAB渋谷 事業説明

経済産業省 新規事業創造推進室 室長補佐 高木 彩
令和3年3月2日

ステートメント

NEW NORMAL LAB.
ここは、新しい生活を考え、
発信して行く場所です。

AIやロボットなど、
気鋭のスタートアップ企業による新技術。
実際の街を舞台にした取り組み。
そして、このプロジェクトを通して、
みんなで新しい生活様式について考えること。

技術、まち、ひと。
その3つが重なりあうことで、
新たな毎日、生まれていくはず。
常識を変える、日常が変わる。
さあ、ともに、新たな一歩を踏み出そう。

技術紹介：具体事例①

ChiCaRo 株式会社ChiCaRo@渋谷区立氷川保育園

『遠隔協同子育てロボット』により
離れた家族や保育士による保育支援を実現



最後に



NEW NORMAL LAB渋谷を通じて、
国民一人一人が、新技術を活用した「ニューノーマル」を思い描けること、
そしてこの取組が、様々な地域・自治体の取組へ広がっていくことを期待

NEW NORMAL LAB渋谷：背景・ねらい

ウィズコロナ、ポストコロナ時代の新しい成長には、
デジタル化の推進等、新技術の活用による
「ニューノーマル」の構築・定着が必要不可欠

コロナ禍の課題解決、さらにはポストコロナ時代を見据えた
快適な生活を実現する新たなテクノロジーをご紹介

技術紹介：具体事例①

LUUP 株式会社Luup@WeWork アイスバグ

公共交通機関の“密”を避け、
より快適でより楽しい“新しい短距離移動”を渋谷の街から発信



技術紹介：具体事例

WOTA WOTA株式会社@MIYASHITA PARK

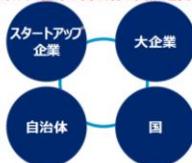
水道いらずの、手洗いスタンド「WOSH」
いつでもどこでも、すべての人に安心安全を提供



NEW NORMAL LAB渋谷：取組

渋谷の街を舞台に、
足元の日常生活における課題解決や、更に快適な生活を実現する
新たなテクノロジーをご紹介

スタートアップ企業、大企業、自治体、国が連携する画期的な事業



技術紹介：具体事例②

VACAR 株式会社バカン@渋谷区役所、SHIBU HACHI BOX

“密状況の見える化”により実現する、
密を避ける人々の行動サポート



NEW NORMAL LAB渋谷 公式ウェブサイト等

■経済産業省ホームページ内：
<https://www.meti.go.jp/newbusiness/newnormalab/>

■日経電子版トップサイト内：
<https://ps.nikkei.co.jp/newnormalab21/>



パネルディスカッション①：
「都市」「まち」のデジタルトランスフォーメーション
による“新常識”の創造
→VACAN, ABAL, AWL, SEQSENSE, Donuts
→CHI, A.B.A.L, Z/W/T, SEQSENSE

パネルディスカッション②：
中長期的な社会課題に向き合うための積極的の
パラダイムチェンジと新技術の活用
→ZHP, LIQUID, Gnamon, ChiCaRo, CYBERDYNE
→LIQUID, Gnamon, ChiCaRo

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会の様子



事業説明会についての説明



西村経済再生担当大臣のビデオコメント



経済産業省 佐藤政務官からの挨拶



長谷部渋谷区長からの挨拶



フォトセッション



NEW NORMAL LAB渋谷 事業説明

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ① 当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ 発表会場前の参加企業のデモ展示の様子



ChiCaRoの展示



Donutsの展示



nearMEの展示



TIME LEAPの「RURA」の展示



AWLの展示



プレス受付の状況

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場での参加企業一覧－1

	参加企業	ロゴ	概要
デモンストレーション参加企業			
1	株式会社Luup		LUUPの電動キックボードを渋谷の街で。 こがずに乗れる、新たなモビリティ体験を。
2	株式会社バカン		スマホやタブレットで渋谷区役所レストルームの空き情報を 表示。待ち時間を気にしない、快適な体験を提供。
3	AWL株式会社		AI搭載のサーマルカメラを使い、実際に体温検知。 マスクの上からでも、複数人でも。高精度な検知を可能に。
4	タイムリープ株式会社		WEB経由で、複数箇所をまたいだ遠隔接客を実演。 その場に人がいなくても接客が可能に。
5	東急株式会社		Wifiとリクライニングシートを完備し、まるで動くシェアオフィス のように活用できる通勤バスが実際の街を運行。
6	株式会社Donuts		サイネージを使ってSAVE LIVEHOUSE PROJECTの概 要を説明。実際のライブ配信の様子も公開。

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場での参加企業一覧-2

	参加企業	ロゴ	概要
デモンストレーション参加企業			
7	SEQSENSE株式会社		ロボットが施設内を自動で動き実際に警備。 警備の様子がわかるロボット視点の映像も公開。
8	株式会社ChiCaRo		子育て支援ロボットのChiCaRoが実際の保育園に登場。 AI搭載予定のモデルを使って、子どもたちとの交流を予定。
9	ダブルフロンティア株式会社		ライフ渋谷東店前で『ツイディ』の買い物代行サービスをご 紹介。
10	プランティオ株式会社		IoTプランターで、最適な水やりタイミングや発芽の時期を 可視化。新しい野菜栽培のカたちをご紹介。
11	WOTA株式会社		水道いらずの、手洗いスタンド「WOSH」でいつでもどこでも 安心安全な新しい手洗い体験を。

2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場での参加企業のデモンストレーション展示



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会

LUUP

■ 提供会社
株式会社Luup

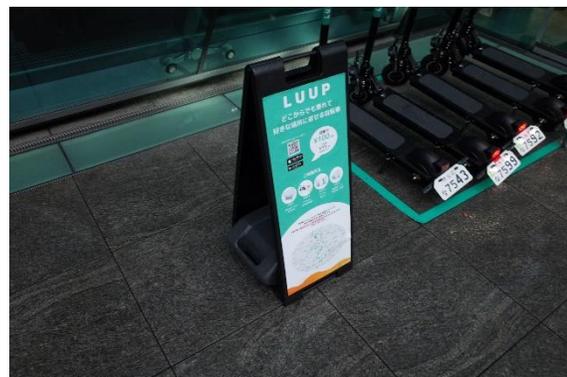
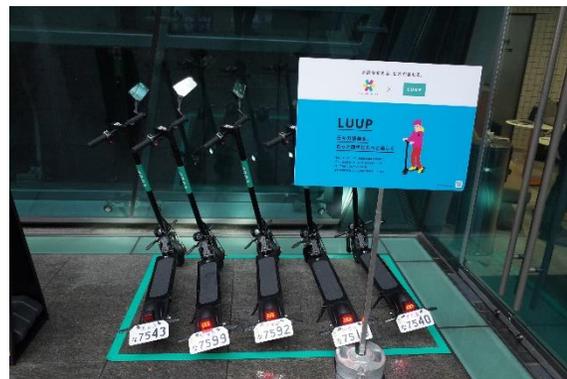
■ 展示場所
WeWorkアイスバーグ

■ デモ内容
Luupは、電動キックボードなど電動・小型・一人乗りのマイクロモビリティのシェアリング事業を展開。
今回のデモでは、WeWork敷地内で、電動キックボードを展示。

* 当日は荒天のため走行体験は中止。

■ 成果と課題

- 公共交通機関の密を回避する新たな短距離移動の手段として、改めて認知度を向上
- 荒天時における安定的な運用や安全性の確保には課題が残り、今後も自治体などとの調整が必要であると考え
- 今後は使用エリアの拡大、ポートの増加などにより利用者数が増えることで実装可能なエリアも増え更に多くの人に注目される技術になると考えられる



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



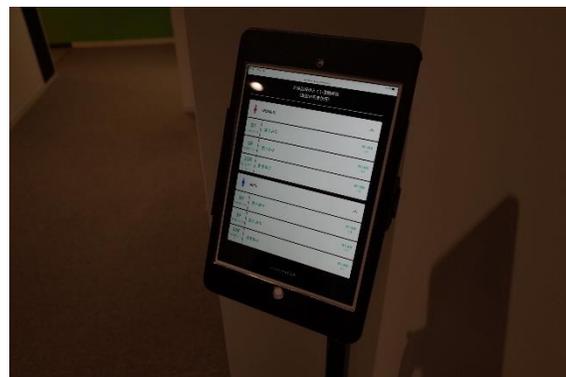
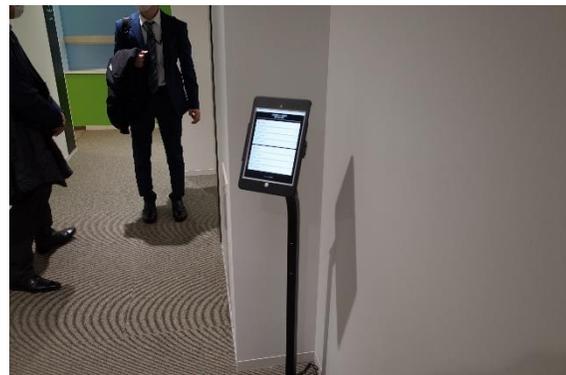
■ 提供会社
株式会社バカン

■ 展示場所
渋谷区役所8～9階のトイレ状況を9階のモニターで確認

■ デモ内容
バカンは、スマートフォンの地図上にお店や施設の「空き」「混雑」の情報をリアルタイム配信できるサービス「VACAN Maps」を提供するスタートアップ企業。今回のデモでは、渋谷区役所内のトイレの混雑状況を可視化。

■ 成果・課題

- タブレットによる表示・運営では（既に実装されている）大型サイネージと同様の効果を得ることは難しいといった課題が見出された
- 一方、施設の密情報や災害時の避難所の情報提供等を伝えていく手段としては非常に有益なものであり今後の拡がりに期待
- 今後飲食店、エンタメ施設などでの更なる実装の広がりを目指す



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社
AWL株式会社

■ 展示場所
ヒカリエホールホワイエ
Plug and Play Shibuya

■ デモ内容

AWLはリテール店舗の課題解決、価値向上を実現するためのAIカメラソリューションを開発、提供。今回のデモでは、その技術を利用した「AWL Thermo」を設置し、マスクや帽子を着用しているお客様でも的確に額をとらえて検温し、複数人でも、4m先から高精度に検知し、会場の安全を確保。

■ 成果・課題

- 本事業を通してタイムリープ社（RURA）とのコラボレーションにより、所謂接客だけでなく、コロナ対策としての消毒、検温を“人を通して”推奨するような場への活用可能性を発見することでできたのは大きな成果と言える
- 本事業を通して人の往来が多い店舗や飲食店などが入る複合施設での導入数を増やし、国民の安心安全な生活へとつなげていくことに期待したい



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社

タイムリープ株式会社

■ 展示場所

ヒカリエホールホワイエ
Plug and Play Shibuya

■ デモ内容

遠隔接客サービス「RURA」は、WEBを経由することで、少人数のスタッフで複数店舗をまたいだ接客が可能なサービス。今回のデモでは、遠隔接客で「AWL」のサービスの紹介を体験した。

■ 成果・課題

- デモンストレーションにおいて遠隔地からスタッフが参加していることが伝わりやすく、この技術の利点（遠隔地から接客、雇用創出等）を伝える方法を検討していくべきと考える
- 今後は、大企業と連携し、非接触での接客を拡大し、国民の快適で、安心安全な生活の支援をより強めていくことに期待したい



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会

Donuts

■ 提供会社
株式会社Donuts

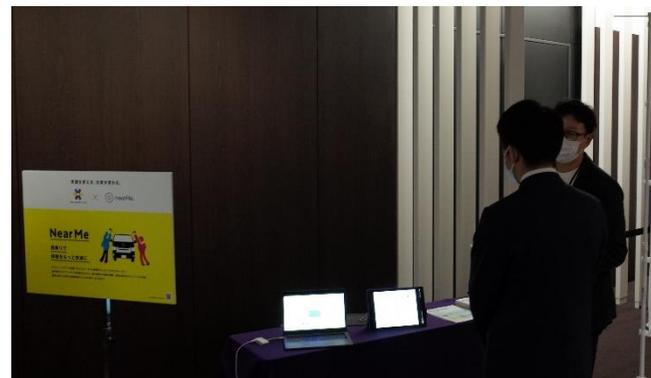
■ 展示場所
ヒカリエホールホワイエ
渋谷フクラス

■ デモ内容

Donutsが提供するミクチャは動画/ライブを簡単に投稿することでコミュニケーションを楽しめるサービス。今回のデモでは、同社が新型コロナウイルスの影響により苦境に立たされたライブハウスやイベント関連企業、アーティストなどの支援プロジェクト「SAVE LIVE HOUSE」の説明動画を放映。

■ 成果・課題

- 同種のデモンストレーションによる技術PRを行うに際しては、実際にライブハウスを繋いだリアルタイムでのデモンストレーションによる訴求が有効であると考えられる
- 今後は、ライブハウスやイベント関連企業、アーティストなどの支援プロジェクト「SAVE LIVE HOUSE」をより一層促進し、新型コロナウイルスの影響により苦境に立たされている関連事業者の喫緊の課題解決に資することが期待される。



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社

SEQSENSE株式会社

■ 展示場所

渋谷フクラス

■ デモ内容

SEQSENSEは、画像認識技術やセンサー技術など高度なテクノロジーを駆使し、生まれた自律移動型のセキュリティロボット「SQ-2 SECURITY ROBOT」を開発。今回のデモでは人手不足が深刻な巡回警備業務を人に代わってセキュリティロボットが警備する様子を取材。ロボットが自動で動き回る様子やロボットの警備映像を遠隔で確認した。

■ 成果・課題

- 本プロダクトを社会実装させるには、安全面等に関して導入施設側との調整に課題が残ることが改めて明らかになった。スムーズな導入に向けてはより円滑な導入施設との連携を図っていく必要がある。
- 導入後は本プロダクトは無人での稼働が可能であり労働力不足の改善の一助となることに期待できる



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■提供会社

株式会社Ch i C a R o

■展示場所

渋谷区立氷川保育園/ヒカリエホールホワイト

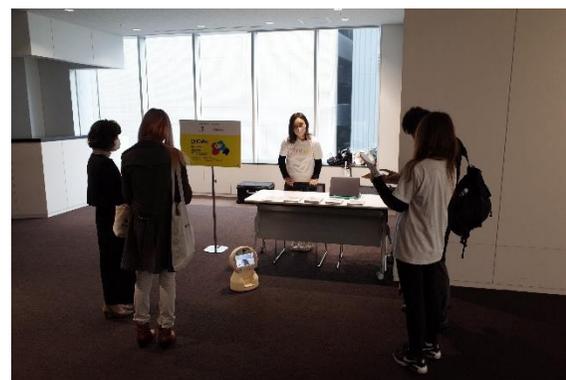
■デモ内容

Ch i C a R oは現代育児の課題であるワンオペ育児を手助けするため、国立大学法人電気通信大学と共同研究し開発した遠隔協同子育てロボット。

Ch i C a R oに付いた画面を通して、遠隔でコミュニケーションを取ることができ、タブレットなど使ってCh i C a R oと追いかけてこやおままごと、かくれんぼなど 身体を使った「遊び」によるコミュニケーションをすることが可能。今回のデモでは、実際に保育園に実機を導入し、保育士と子供たちが、Ch i C a R oを通してあそぶ（リトミックなど）ことを体験した。

■成果・課題

- 本サービスをより多くの施設、個人に導入するためには本サービスの利点を実機のデモンストレーションだけでなく遠隔地の家族と幼児をリアルに繋いで技術を効果的にアピールしていくことや、安全性のアピールが肝要であるということが改めて明らかになった
- 遠隔育児に対する注目度は高く、育児対象者を中心としたデモを継続的に実施することで導入のスピードはあがり、今後の少子化対策の一助になることに大きな期待を寄せる



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社

プランティオ株式会社

■ 展示場所

Plug and Play Shibuya

■ デモ内容

PLANTIOは、IoTやAIなどのテクノロジーを下支えとした皆で楽しく野菜を育て時給自足できる「アグリテイメント」を提唱。今回のデモでは、スモールサイズでコミュニティ栽培を可能にするIoTプランターを設置し、IoTプランターのセンサーから日照量や水分量、気温、土の温度など栽培データを取得し、ネットワーク上に蓄積・AIが自動で学習している様子を確認。またアプリ上のコミュニティで専門家や栽培仲間がアドバイスしてくれる様子を紹介。

■ 成果・課題

- 限られたスペースであっても展開でき、コロナ過でのオフィスビル屋上等の空きスペースや家での時間の活用可能性が確認できたことは成果といえる
- 本サービスの導入促進に向けては実際に使用している愛好者のユーザーボイスなどを活用することでより身近なテクノロジーであることをさらに訴求できるものと思料



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社
WOTA株式会社

■ 展示場所
MIYASHITA PARK

■ デモ内容

WOTAは、水道のない場所での水利用を実現する、ポータブル水再生処理プラント「WOTA BOX」を開発。「WOTA BOX」は最先端のAI水処理技術によって、一度使った水の98%以上を再利用でき、今回のデモでは、MIYASHITA PARKに設置され水道のない場所で使用できる手洗いスタンド「WOSH」を紹介した。

■ 成果・課題

- 本プロダクトは水道設備を必要とせず、簡易的に設置することができ、コロナ禍における手洗い設備の増設必要性に即応できることが確認できた
- 災害時の避難所、屋外での衛生管理等での有益性を伝えることができると更なる社会実装の促進につなげるのではないかと考えらえる



2. 事業内容

(2) 実証の実施 ①当該新技術の展示やPR等を行うセミナーの開催及び当該セミナーにおける新技術の活用

■ LAB会場取材会



■ 提供会社

ダブルフロンティア株式会社

■ 展示場所

ライフ渋谷東口店

■ デモ内容

ダブルフロンティアは、子育て世代が抱える“お買い物の課題”を解決するため、育児や家事、仕事で忙しい人や、お店が遠くて行きづらいという方に向けたお買い物代行プラットフォーム「ツイディ」を提供。

■ 成果・課題

- 買い物代行というサービスで、コロナ禍において人との接触を避けて日用品を入手することを実現するほか、新しい雇用を生むなど、足元の課題に即応し得るサービスであるが、知名度の低さからサービス内容が浸透しておらずデモンストレーションだけでは情報訴求が弱いという課題が明らかになった
- 実際に本サービスを利用している顧客のリアルボイスなどを活用することで本サービスの更なる社内実装に繋がると考えられる



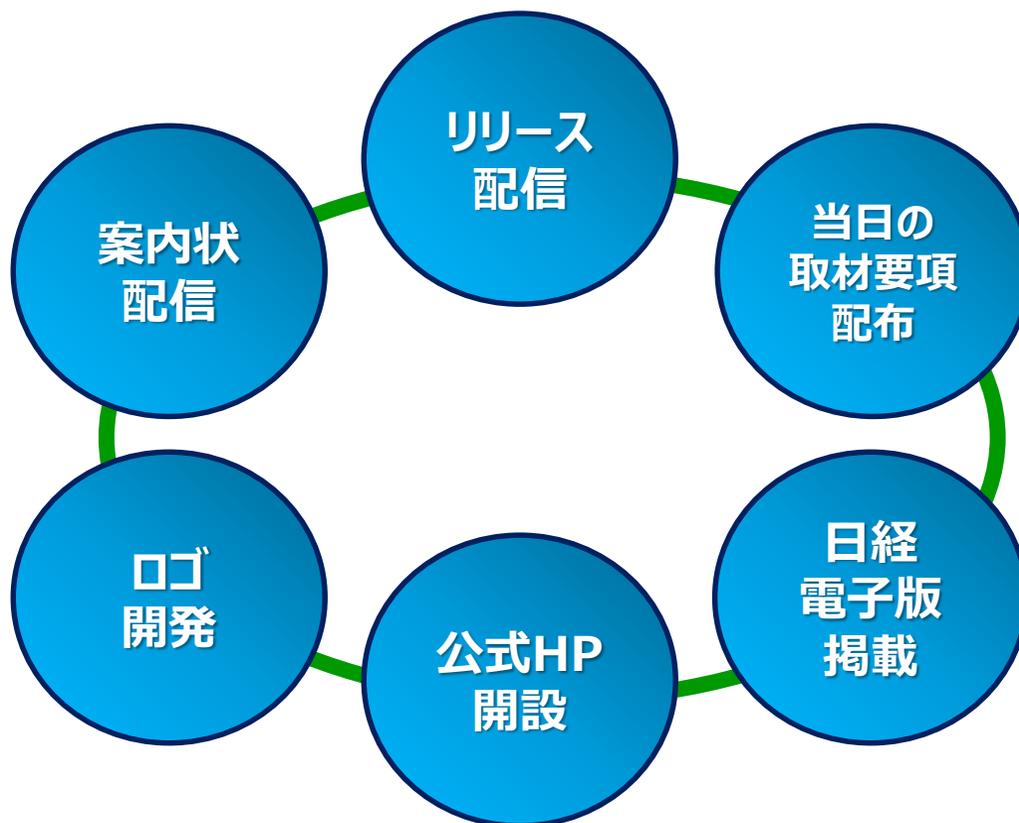
2. 事業内容

(3) 広報活動

■ 考え方

より多くのメディアに届き、記事化が図れるように座組を設計。

案内状、リリース、当日の取材要項、NEW NORMAL LABのロゴ開発、NEW NORMAL LAB公式ホームページの開設、日経電子版へのNEW NORMAL LABの目的や今後について発信することで関心や期待を高めた。すべての施策が有機的に連携することを意識し、効率的、かつ効果的な広報活動を行った。



2. 事業内容

(3) 広報活動

■ 案内状

取材のご案内 ※本資料は経済産業記者会でご案内しております

経済産業省
2021年2月29日

経済産業省
AI、VR、IoTなど最新テクノロジーを有する
様々な企業が集まり、渋谷の街をLABに
ニューノーマル時代の「日常」の課題を解決！
「NEW NORMAL LAB」事業概要発表会

【日時】2021年3月2日（火）＜第1部＞発表会：13:00～13:45（受付：12:30～）
＜第2部＞LAB会場取材会：13:45～16:00（予定）

【会場】ヒカリエホール【A～E席】（東京都渋谷区渋谷2-21-1）

経済産業省は、ニューノーマル時代の日常の課題を解決し、新技術活用、新形態を創造することを目的に、新技術及びその活用促進、デジタルトランスフォーメーション推進をテーマとした「NEW NORMAL LAB」を推進し、2021年3月2日に東京都渋谷区に会場を、新入技術活用、新形態創出、及び新規LAB会場取材会を開催します。

この日は、3月2日（火）13時より、事業概要発表会、およびLAB会場取材会を行います。ご多忙にはなりますが、厚くご案内にて取材のお願い申し上げます。

なお本開催の都合上、同日1日（日）まで当該会場に閉鎖いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、お出席は多くの方で実施の困難がございます。ご参加は当該開催するものも考えられることから、お申し込みいただいた方がお申し込みの数を減らすべく、お申し込みの数を減らすことが可能です。また、その社会実装を促すためには、当該「日常」においてより新技術活用、新形態創出を促進する必要があります。

「NEW NORMAL LAB」は新形態の創出に促進課題を有する地域において、当該課題を解決するものと、その解決に資すると思われる新技術及び当該新技術を活用した新たなビジネスアイデアを有するスタートアップ企業を招きます。

記

◆開催概要
【日時】2021年3月2日（火） 発表会：13:00～13:45（受付：12:30～）
LAB会場取材会：13:45～16:00（予定）
【会場】 渋谷ヒカリエヒカリエホール【A～E席】（東京都渋谷区渋谷2-21-1）、および駅前周辺
【取材者（予定）】 経済産業省（取材中）
渋谷区長 長谷部 健樹

【本件に関するお問い合わせ先】
「NEW NORMAL LAB」広報事務局（共同ヒカリエ内） 担当：小林、伊藤
MAIL: newnormalab-shibuya-pr@kyodo-pr.co.jp TEL: 03-3571-5236
当日連絡先: 070-4303-7400（小林）/090-8463-3458（伊藤）/070-6404-5236（伊藤）

■「NEW NORMAL LAB」(第1部) プログラム(予定)

時刻	時間	項目	登壇者
12:30	00:30	受付	
13:00	00:04	開会	副大臣
13:04	00:05	挨拶	経済産業省 長谷部大臣
13:09	00:05	挨拶	渋谷区長
13:14	00:15	事業概要説明	経済産業省「NEW NORMAL LAB」事業担当
13:20	00:10	質疑応答	経済産業省 長谷部大臣
13:30	00:05	フォトセッション	経済産業省 長谷部大臣
13:44	00:01	閉会	司会者

■「NEW NORMAL LAB」(第2部) プログラム

時刻	時間	項目	登壇者
13:45	02:15	LAB会場取材会場始	
16:00 (概)		LAB会場取材会終了	

※「NEW NORMAL LAB」(第2部) プログラムは、当日変更となる可能性があります。
※参加者は事前登録を要し、当日会場にて受付となります。

＜取材に当たっての注意事項＞
■「NEW NORMAL LAB」(第1部)
※新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクの着用、手消毒をお願いします。
※また、受付で検温させていただきます。検温（37.5度以上）に場合、入場を中止させていただきます。何卒ご理解をお願いします。
※入場の際は、新型コロナウイルス感染症予防（COCCOA）の登録が必須となります。事前の登録をお願いします。
※参加者多数で発生見込みとなるため、ご出席をお断りする可能性があります。
※第1部、第2部ともに、取材はマスクの着用をお願いします。
■「NEW NORMAL LAB」(第2部)
※各会場には各9名枠となります。取材時はスケジュールの順に従ってお願いいたします。
※一般のお客様は申し込みはできませんので、通行の妨げにならないようお願いします。

■「NEW NORMAL LAB 渋谷」(第1部) 会場地図・アクセス

Address
〒150-8510 東京都渋谷区渋谷2-21-1
「NEW NORMAL LAB」会場
※JR 東横線「渋谷駅」南口徒歩2分
※東京メトロ副都心線「渋谷駅」南口徒歩2分
※京王線「渋谷駅」南口徒歩2分
※京王東横線「渋谷駅」南口徒歩2分

■「NEW NORMAL LAB 渋谷」(第2部) 取材可能箇所

現在開催中

- サイイ
- 買い物代行サービス
- SEOSENSE
- 除菌ロボット
- ASU
- RURA
- 除菌消毒

※実施場所は調整中となります。3/2（火）に改めてご案内させていただきます。

■「NEW NORMAL LAB 渋谷」(第2部) 参加企業 ※非公開

参加企業	ロゴ	概要
1 株式会社LUUP	LUUP	電動スクーターで、短距離移動が簡単便利に。アプリを使えば、街中を自由に移動できる。新しい移動手段としての認知が広がっています。
2 株式会社VACAR	VACAR	AIを活用し、スマホやサイネージで、お客様をリアルタイムで可視化。カメラやセンサー、AIによる分析で、お客様の行動パターンを把握し、最適なアプローチが可能です。
3 AIW株式会社	AIW	AIを駆使することで、従来のカメラカメラが持つ認識能力を、さらに向上させ、認識精度を4mから高精度に向上。この最先端技術から、皆様へ最先端のソリューションを提供しています。
4 タイムリー株式会社	TIMELRY	駅前や商業施設などで、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。
5 東急株式会社	東急	リクライニングシートとWi-Fi搭載の電動シートが、快適な移動体験を提供。快適な移動体験を提供。快適な移動体験を提供。
6 株式会社Donuts	Donuts	3Dカメラのライブ配信アプリを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。
7 SEOSENSE株式会社	SEOSENSE	独自のセンサー技術などのテクノロジーをつかった、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。
8 株式会社ChiCarRo	ChiCarRo	新しい移動手段を提供する子供向け電動スクーターが、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。
9 フロンティア株式会社	Frontier	新技術を活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。
10 プランティオ株式会社	PLANTIO	デジタル技術を活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供。最新のテクノロジーを活用し、お客様のニーズに応じた最適なソリューションを提供しています。

開催用紙 (第51)

渋谷の街をLABに！
「NEW NORMAL LAB」事業概要発表会
2021年3月2日（火）

＜第1部＞発表会：13:00～13:45（受付：12:30～）
＜第2部＞LAB会場取材会：13:45～16:00（予定）
【会場】ヒカリエホール【A～E席】および駅前周辺（非公開）

準備の都合上、本返信用紙に必要事項をご記入の上、3月1日（月）18時までに下記まで。
返信宛先：「NEW NORMAL LAB」広報事務局（共同ヒカリエ内）
FAX：03-3574-9364 もしくは
MAIL: newnormalab-shibuya-pr@kyodo-pr.co.jp

ご希望される内容にチェックを入れてください

第1部 (13:00～) 第2部 (13:45～) 欠席

御社名： _____
 媒体名： _____
 御芳名： _____
 電話番号： _____
 FAX番号： _____
 メール： _____

取材希望実施：企業名 ()、時間： 時 分
 撮影の予定： 有 (ENG・ハンディ・ステール) / 無

参加人数： _____ 名 (ご本人様含む)

【本件に関するお問い合わせ先】
「NEW NORMAL LAB」広報事務局（共同ヒカリエ内） 担当：小林、伊藤
MAIL: newnormalab-shibuya-pr@kyodo-pr.co.jp TEL: 03-3571-5236
当日連絡先: 070-4303-7400（小林）/090-8463-3458（伊藤）/070-6404-5236（伊藤）

2. 事業内容

(3) 広報活動

■リリース

News Release  経済産業省

2021年3月2日

スタートアップ企業等の新技術を活用し「新常态」を創造する「NEW NORMAL LAB 渋谷」を開催します！

経済産業省は、スタートアップ企業等の新技術を活用し、ポストコロナ、ウィズコロナ時代における日常の課題を解決することによる「新常态」の創造を目的に、自治体、大企業とも協力し、「NEW NORMAL LAB 渋谷」を開催します。

1. 目的
経済産業省は、2021年3月2日、渋谷の街を舞台に、自治体や大企業とも協力し、スタートアップ企業等の新技術を活用して、ポストコロナ、ウィズコロナ時代における買い物や移動といった日常の課題の解決を図る「NEW NORMAL LAB 渋谷」を開催します。
この企画は、新型コロナウイルス感染症により生じた課題の解決のみならず、少子高齢化などの中長期的な社会課題への対応にも資するスタートアップ企業の取組を紹介し、「新常态」の創造を後押しするとともに、その活動を広く認知するものです。

2. 概要
【名称】
「NEW NORMAL LAB 渋谷」

【公式サイト】
参加するスタートアップ企業の技術・サービスはこちらをご覧ください。
<https://www.meti.go.jp/newbusiness/newnormallab/>

【デモンストレーション】
各会場では、AI、VR、IoT、ロボティクスなどを活用したスタートアップ企業の最新技術・ビジネスアイデアによるサービスやプロダクトが、働き方や子育て、買い物、エンターテインメントといったありふれた日常シーンでどのように課題を解決できるかを紹介します。

<開催日時>
2021年3月2日（火曜日）13時～16時
<開催場所>
●渋谷ヒカリエ、神宮通り公園、weeek/アイズバール、渋谷区役所本庁舎内、渋谷スクランブル交差点、渋谷ソラスタ、渋谷区立水川緑地公園
※天候や状況によって変更の可能性があります。

1

【参加企業】(順不同)

株式会社 Luup、株式会社バカン、ABAL株式会社、AWL株式会社、タイムリープ株式会社、SEQUENSE株式会社、株式会社NewMe、東急株式会社、株式会社Donuts、ブランドタイ株式会社、ダブルフロンティア株式会社、株式会社CHiCaRo、株式会社ZMP、株式会社Liquid、株式会社シナモン、CYBERDYNE株式会社、株式会社Hakobot、クックパッド株式会社、ラッセル・マインドフルネス・エンターテインメントジャパン株式会社、株式会社 EXx、WOTA 株式会社 計21社

【デモンストレーション参加企業と内容一覧】
別添のとおり。

(本発表資料の公開先等)
経済産業政策局 新規事業創造推進室
担当 齋藤 直丈、井井
電話 03-3501-1620(内線 2538～2539)
03-3501-1569(直通)
03-3501-6079(FAX)

2

■「NEW NORMAL LAB 渋谷」(第2部) 参加企業 ※順不同

参加企業	参加企業	ロゴ	概要
1	株式会社Luup		LUUPの電動キックボードを渋谷の街で、こがずに乗れる、新たなモビリティ体験を。
2	株式会社バカン		スマホやタブレットで渋谷区役所レストルームの空き情報を表示、待ち時間を気にしない、快適な体験を提供。
3	AWL株式会社		AI搭載のサーマルカメラを使い、実際に体温検知、マスクの上からでも、複数人でも、高精度な検知を可能に。
4	タイムリープ株式会社		WEB経由で、複数箇所をまたいだ遠隔診察を実現、その場に行かなくても診察が可能に。
5	東急株式会社		WiFiとリクライニングシートを完備し、まるで動くシェアオフィスのように活用できる通勤バスが実際の街を運行。
6	株式会社Donuts		サインネジを使ってSAVE LIVEHOUSE PROJECTの概要を説明、実際のライブ配信の様子も公開。
7	SEQUENSE株式会社		ロボットが施設内を自動で動き実際に警備、警備の様子わかるロボット視点の映像も公開。
8	株式会社CHiCaRo		子育て支援ロボットのCHiCaRoの実家の前庭に音響、AI搭載型モデルを使って、子どもたちとの交流を予定。
9	ダブルフロンティア株式会社		ライブ配信店舗で「ツイティ」の買い物代行サービスをご紹介します。
10	ブランドタイ株式会社		IoTプランターで、最適な水やりやライミングや養分供給の時期を可視化、新しい野菜栽培のカタチをご紹介します。
11	WOTA株式会社		水通いずり、手洗いお水「WOSH」についても水通い安全な新しい手洗い体験を。

■デモンストレーションMAP ※一部変更の可能性あり



The map shows the layout of the demonstration event in Shibuya, with various companies' booths and activities marked across the area, including locations like Shibuya Hikarie, Weeek/Aisubaru, and the main event space.

2. 事業内容

(3) 広報活動

■ 取材要項

経済産業省
2021年3月2日

＜取材要項＞
「NEW NORMAL LAB」事業概要発表会
【日時】2021年3月2日（火）＜第1部＞発表会：13:00～13:45
＜第2部＞LAB会場発表会：13:45～16:00（予定）

＜取材にあたってのご注意事項＞

- ◆ 新型コロナウイルス感染症予防のため、マスクのご着用、手指消毒をお願いします。
- ◆ 受付にて検温させていただきます。発熱（37.5度以上）の場合、入場をご遠慮いただきますので、何卒ご理解、ご了承のほどよろしくお願い申し上げます。
- ◆ 入場には、新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の登録が必要となります。未登録の方は受付にて登録をお願いします。
- ◆ 第1部、第2部ともに、取材時はプレスパスの着用をお願いします。
- ◆ 各LAB取材会場は、取材者多数で定員を超える場合は、お時間等を調整させていただきます。
- ◆ 取材会場ごと、取材時の注意事項がございます。次頁以降を確認頂き取材をお願いします。
- ◆ 各LAB取材会場には、参加企業のサビズ説明員と各PRスタッフがございます。取材時はスタッフの指示に従って頂きますようお願いいたします。
- ◆ LAB取材会場には一般のお客様もいらっしゃいますので、通行の妨げにならないようお願いします。

【本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先】
「NEW NORMAL LAB」広報事務局（林院・テラス・丸の内）担当：小林、嵯峨、伊藤
MAIL: newnormal-lab@buyers-pr.com@yodo-pc.co.jp TEL: 03-3571-5236
当日連絡先: 070-4303-7400（小林）/090-8463-3458（嵯峨）/070-6464-5236（伊藤）

■ 第1部 プログラム（予定）

時刻	項目	司会者	登壇者
13:00	開会	司会者	
13:04	ビデオメッセージ	経済再生担当大臣 西村 康徳	
13:05	挨拶	経済産業大臣政務官 佐藤 啓	
13:10	挨拶	渋谷区長 長谷部 健	
13:15	フォトセッション	経済産業大臣政務官 佐藤 啓 渋谷区長 長谷部 健	
13:20	事業概要説明	経済産業省新成長事業創造推進室 室長補佐 高木 智	
13:35	質疑応答	経済産業省新成長事業創造推進室 室長補佐 高木 智 渋谷区 経済企画部副参事 国朝晴雄 経済局長 田坂 克郎	
13:45	閉会	司会者	

LAB取材会

【フォトセッション立ち位置】

渋谷区長 長谷部 健
経済産業大臣政務官 佐藤 啓

【注意事項】
※登壇者の登壇時は、手前から登壇、降壇となります。
※フォトセッション時は、移動はせず、そのままの位置で撮影をお願いします。

■ 「NEW NORMAL LAB 渋谷」(第2部) 参加企業 ※順不同

参加企業	ロゴ	概要
デモンストレーション参加企業		
1	株式会社LUUP	LUUPの電動キックボードを渋谷の街で、こがすに採れる。新たなモビリティ体験。
2	株式会社VACAN	スマホでタブレットで来店予約し、1人1台の専用車を表示。待ち時間を短縮し、快適な体験を提供。
3	AWI株式会社	AI搭載のサーマルカメラを用いて、実際に体温検知マスクの上からでも、検知できる。高精細な検知が可能。
4	タイムラー株式会社	WEB経由で、商品提案をいただいた商品提案を提案。その人がいなくても提案が可能。
5	東急株式会社	Webとリアルタイムリンクも可能。まるで動くリアルタイムのようである。通称「スマート移動」の体験。
6	株式会社Donuts	サイネージを使ってSAVE LIVEHOUSE PROJECT概要を説明。実際のライブ配信の様子も公開。
7	SEQUENSE株式会社	ロボットが階段を自動で登る実演を披露。驚きの様子が見られる。スマート視覚の体験も公開。
8	株式会社ChiCaro	子育て支援サービスのChiCaroが実際の保護者は、AI搭載のスマートカメラを使って、子どもたちの安全を確保。
9	アイエムエー株式会社	ライブ配信専用で「ライブ」の「買い物」サービスも公開。
10	プランティオ株式会社	IoTプランティオ。暮らしを豊かにするIoTデバイスが中心のサービスを提供。新しい実用型のスマートデバイス。

参加企業	ロゴ	概要
デモンストレーション参加企業		
11	WOTA株式会社	水素の貯蔵、手回しのWOTAについてもぜひ安心安全な暮らしへ体験を。

■ 第2部 LAB取材会 会場

■ 七ヶ丘エリア内 施設概要

AWI株式会社
株式会社AWI

子会社
AWIがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

nearMe株式会社
nearMe株式会社

子会社
nearMeがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

ChiCaro株式会社
株式会社ChiCaro

子会社
ChiCaroがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

■ 七ヶ丘エリア内 LAB取材

AWI株式会社
株式会社AWI

子会社
AWIがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

Donuts株式会社
株式会社Donuts

子会社
DonutsがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

nearMe株式会社
株式会社nearMe

子会社
nearMeがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

ChiCaro株式会社
株式会社ChiCaro

子会社
ChiCaroがAI搭載の体温検知マスク、検知精度を高め、検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。検知精度を向上させたAI搭載のマスクを開発。

① LUUP 取材場所: WeWork アスパーク

■ 株式会社
株式会社LUUP

■ 子会社
LUUPは、電動キックボード「ロビ」の企画・開発・販売のメーカーとして、ユーザーの体験を向上させるべく、WeWorkアスパークにて、電動キックボードを展示するほか、LUUPの体験も提供させていただきます。

■ 取材時の注意事項
※展示体験する際には、道路通行自転車の免許、ヘルメットの着用が必要です。
※雨天の場合は、走行体験は中止となります。
※試運転への参加希望の場合は、スタッフにお知らせください。
※WeWorkアスパークの営業時間外は、体験はできません。

② WOTA 取材場所: MIYASHITA PARK/ South 3F (2Fホール)

■ 株式会社
株式会社WOTA

■ 子会社
WOTAは、水道の蛇口場所での水利用を実現する、ボタム水再生装置「WOTA BOX」を開発。WOTA BOXは最先端の水処理技術によって、一度使った水の99%以上を再利用できます。今回の展示では、MIYASHITA PARKに設置された水産物の場所でも使用する「WOTA BOX」も展示いたします。

■ 取材時の注意事項
※取材時は、PRスタッフの誘導を受けながら観覧の上、お見せいたします。
※一般のお客様の観覧はございません。展示は観覧希望の場での取材となります。

③ VACAN 取材場所: 渋谷区役所本庁舎5階

■ 株式会社
株式会社VACAN

■ 子会社
VACANは、スマートフォンの地図上にお店や施設の「空」の画像をリアルタイムで表示するサービス「VACAN Maps」を開発しています。今回の展示では、渋谷区役所内でのリアルタイムの画像表示も体験いただけます。

■ 取材時の注意事項
※渋谷区役所1Fエントランスにて担当者がご案内いたします。
※取材、待機パスが提供されているため、階層のご案内となります。

④ SEQUENCE 取材場所: SHIBUYA FUKURAS 東京女子大学内 3Fイノベーションホール

■ 株式会社
株式会社SEQUENSE

■ 子会社
SEQUENSEは、AI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。

■ 取材時の注意事項
※展示体験する際には、道路通行自転車の免許、ヘルメットの着用が必要です。
※雨天の場合は、走行体験は中止となります。
※試運転への参加希望の場合は、スタッフにお知らせください。
※WeWorkアスパークの営業時間外は、体験はできません。

⑤ PLANTIO 取材場所: Plug and Play Shibuya (渋谷区立東急ビル1F-2F)

■ 株式会社
株式会社PLANTIO

■ 子会社
PLANTIOは、IoTデバイスで水や土壌の状態をリアルタイムで監視するスマート農業を実現。今回の展示では、IoTデバイスで水や土壌の状態をリアルタイムで監視するスマート農業を実現。今回の展示では、IoTデバイスで水や土壌の状態をリアルタイムで監視するスマート農業を実現。

■ 取材時の注意事項
※取材時は、PRスタッフの誘導を受けながら観覧の上、お見せいたします。
※一般のお客様の観覧はございません。展示は観覧希望の場での取材となります。

⑥ ChiCaro 取材場所は、こちらです。

■ 株式会社
株式会社ChiCaro

■ 子会社
ChiCaroは、子育て支援サービスのChiCaroを開発。今回の展示では、子育て支援サービスのChiCaroを開発。今回の展示では、子育て支援サービスのChiCaroを開発。

■ 取材時の注意事項
※展示体験する際には、道路通行自転車の免許、ヘルメットの着用が必要です。
※雨天の場合は、走行体験は中止となります。
※試運転への参加希望の場合は、スタッフにお知らせください。
※WeWorkアスパークの営業時間外は、体験はできません。

⑦ Frantex 取材場所: LIFE渋谷東武

■ 株式会社
株式会社Frantex

■ 子会社
Frantexは、AI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。

■ 取材時の注意事項
※展示体験する際には、道路通行自転車の免許、ヘルメットの着用が必要です。
※雨天の場合は、走行体験は中止となります。
※試運転への参加希望の場合は、スタッフにお知らせください。
※WeWorkアスパークの営業時間外は、体験はできません。

⑧ 東急 取材場所は、こちらです。

■ 株式会社
株式会社東急

■ 子会社
東急は、AI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。生きた自律制御型のAI搭載の体温検知マスク「ロビ」を開発。

■ 取材時の注意事項
※展示体験する際には、道路通行自転車の免許、ヘルメットの着用が必要です。
※雨天の場合は、走行体験は中止となります。
※試運転への参加希望の場合は、スタッフにお知らせください。
※WeWorkアスパークの営業時間外は、体験はできません。

2. 事業内容

(3) 広報活動の実施

■ ロゴ開発



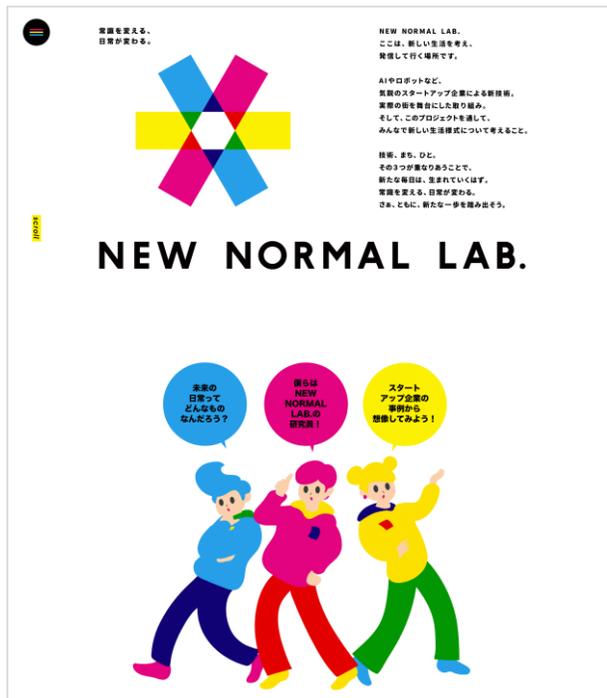
常識を変える、日常が変わる。

NEW NORMAL LAB.

2. 事業内容

(3) 広報活動の実施

■ NEW NORMAL LAB公式ホームページ



未来を変える、
日常が変わる。

NEW NORMAL LAB.
ここは、新しい生活を考え、
実践して行く場所です。

AIやロボットなど、
多数のスタートアップ企業による新技術、
実際の街を舞台にした取り組み。
そして、このプロジェクトを通して、
みんなで新しい生活様式について考えること。

技術、まち、ひと、
その3つが集まりあうことで、
新たな価値は、生まれていきます。
常識を変える、日常が変わる。
さあ、ともに、新たな一歩を踏み出そう。

NEW NORMAL LAB.

未来の
日常って
どんなもの
なんだろう？

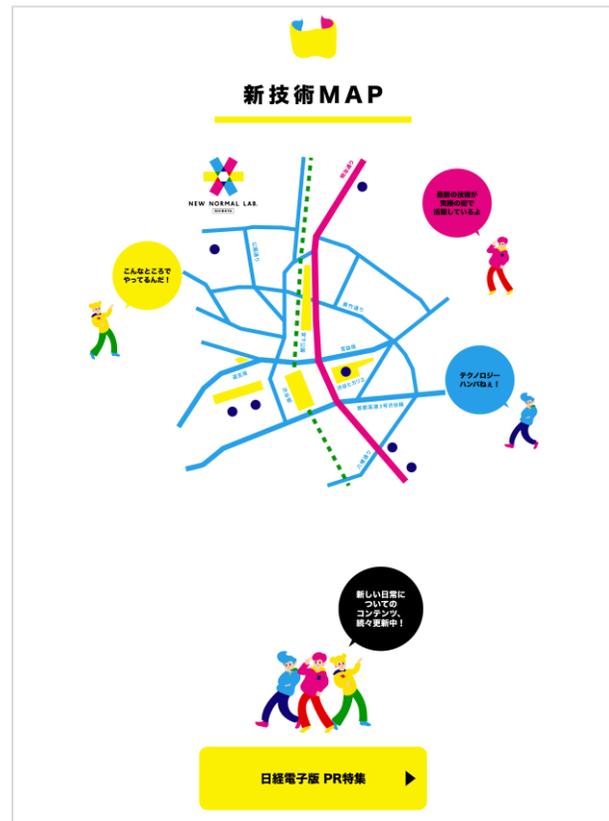
僕らは
NEW
NORMAL
LAB.の
研究員！

スタート
アップ企業の
事例から
勉強してみよう！



未来の日常図鑑

AWL	ChiCaRo	Donuts	LUUP
NearMe	PLANTIO	SEQSENSE	TOKYU
TIMELEAP	VACAN	WFrontier	ABAL
Cinnamon	CYBERDYNE	LIQUID	ZMP
Cookpad Mart	Russell Mindfulness Entertainment	WOTA	EXx
hakobot			



新技術MAP

こんなところで
やってるんだ！

最新の技術が
実際の街で
実践されているよ

テクノロジー
パークだよ！

新しい日常に
ついての
コンテンツ、
随時更新中！

日経電子版 PR特集

2. 事業内容

(4) 効果測定

■ 活動概要

活動内容

- ◆ 案内状作成、配信
- ◆ 対象メディアリスト作成
- ◆ プレスリリース作成、欠席メディアへの配信
- ◆ 取材要項作成
- ◆ 取材誘致
- ◆ 出席メディアリスト作成、更新
- ◆ 当日メディア対応
(第1部：報道受付、プレスブリーフィング、フォトセッション対応、第2部：各取材会場でのメディア取材アテンド)
- ◆ 掲載フォロー
- ◆ 掲載記事収集、報告
- ◆ 報告書作成

活動結果

出席メディア数	第1部：20名 第2部：18媒体（延べ数）
掲載数	46件

2. 事業内容

(4) 効果測定

■ 3月12日付の日本経済新聞に5段広告。

9 日本経済新聞 2021年(令和3年)3月12日(金曜日)

NIKKEI Financial
地銀実力調査

収益力、山口銀トップ

収益力ランキング

順位(前週)	銀行名	ランク
1(2)	山口銀行	S
2(1)	福岡銀行	S
3(3)	千葉銀行	S
4(5)	静岡銀行	S
5(4)	横浜銀行	S
6(6)	広島銀行	A
7(1)	スルヤ銀行	A
8(8)	常陸銀行	A
9(7)	伊予銀行	A
10(2)	足利銀行	A

グループ経営、コスト圧縮

東京海上 リスク管理焦点

買収目的会社への投資

「セレブ参画でも慎重に」

石炭関連への融資廃止

英日SEC総会に提案

ESG情報開示に青写真

IFRS財団 世界基準を準備

NEW NORMAL LAB. 快適な暮らし今こそ

スタートアップの技術体験

経済産業省
協力：特許庁、東京

3. 今後の展望

今回得た知見は、コロナ禍における短期的課題、日本が抱える中長期的な課題解決に向けて、今回の事業のように国（経済産業省）、自治体、大企業、スタートアップ企業の交流・連携が重要であり、4者連携が促進することで課題解決への大きな力となることがわかった。

すなわち、全国で共通する課題に加え、この連携により地域固有の課題を同定し、地域のスタートアップ企業の有する新技術を、大企業との連携も含めて活用し、その解決に資する取組を行うことで、関連技術の社会実装の更なる推進や社会受容の向上に貢献し、新技術を活用した新常态の創造を加速することが可能になるものと思料する。

これを踏まえ今後「NEW NORMAL LAB. 渋谷」の取組をモデルケースとして、同種の取組が様々な地域・自治体へ広がり、地域固有の課題解決及び我が国全体の課題解決に資するものとして展開していくことに期待する。